壁掛けガイドシート

TPAPAA089WJZZ ⚠1
11P09-JA-KK

LC-32F5 用

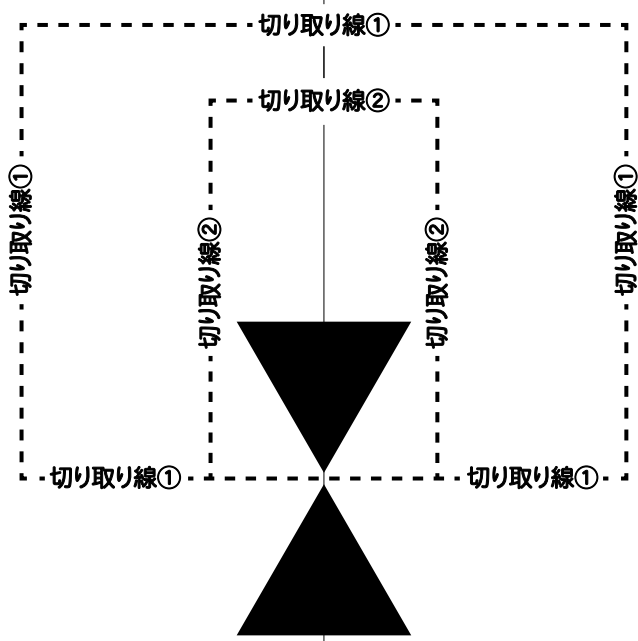
安全上のご注意

- 取り付けをされる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。また、安全に設置していただくために、２人以上で作業することをおすすめします。

⚠ 警告

- **取付工事や取り外しは、お買い上げの販売店、または専門業者にご依頼ください。**
- お客様ご自身で取付工事をされ、万一不備がありますと、落下によるケガ、破損、感電、または火災の原因になります。

- **取付工事や配線工事は、下記の注意事項や壁掛け手順に従って確実に行ってください。**
- 取り付ける壁は、重量に十分耐える場所を選んでください。
- 配線工事についても、壁の厚さや強度を事前にご確認ください。
- 壁掛け金具には、他の荷重をかけないでください。
- 必ず指定の部品を使用し、部品の改造・変更は行わないでください。
- 外したスタンドは本機以外に使用しないでください。

上記の内容に万一不備がありますと、落下によるケガ、破損、感電、火災の原因になります。

お客様へのお願い

◇再度スタンドを取り付ける場合の注意事項◇

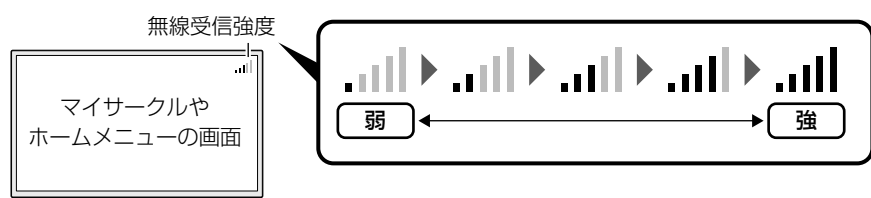
- 壁掛けスリム金具や壁掛け用ホルダーを使用していたお客様が、壁掛けをやめて再度スタンドを取り付ける場合は、ディスプレイ部の天地方向を間違えないようご注意ください。
- 取り付けの順番は、先ずスタンド支柱をディスプレイ部に取り付けた後、スタンド台を取り付けてください。スタンド支柱とスタンド台を組み立てた状態でディスプレイ部に取り付けようとすると、スタンドが不安定になり危険です。
- 壁掛けスリム金具や壁掛け用ホルダーを壁面に設置後に再び撤去しますと、壁面に取り付けネジやヒートン類の穴が残りますのでご了承ください。ディスプレイ部を長期間壁掛けでご使用になりますと、ディスプレイ部の熱や空気の流れによって、壁面が変色することがありますのでご了承ください。

◇免責事項◇

お客様が、この壁掛け金具の取り付け不備、取扱い不備、または当社製の専用部品以外をご使用になった場合による事故、損傷については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

はじめに

- ディスプレイ部とチューナー部の間は、無線で接続されています。
  壁掛けする前には、設置する場所の無線受信強度を事前に確認し、状態の良いところを選んでください。

無線受信強度
マイサークルや
ホームメニューの画面
弱 ⟷ 強

マイサークルやホームメニューの画面右上で確認できます。

32

ディスプレイ部壁掛け手順書　（取付工事業者様用）

設置位置について

- 液晶テレビには視野角（映像が正しく見える範囲）があります。ほぼ正面がもっとも正しく見える位置です。よくご覧になる姿勢や目線、視野範囲に合わせて設置位置を決めてください。
- 設置の際にはディスプレイ部の AC アダプターが床から離れたり、他のケーブルに引っ掛からないように設置してください。
- 設置の高さによってはお子様がディスプレイ部に頭などをぶつける可能性がありますので、設置時にご配慮ください。

ご用意いただくもの（市販品）

- 壁掛けスリム金具／壁掛け用ホルダー取付用ネジ 10 ～ 21 本
  壁の材質や強度に応じて、使用するネジの種類、本数、および長さが異なります。ご用意いただく際は、販売店や工事店にご相談ください。
- 穴あき硬貨（5円玉）におもりをつけた糸、セロハンテープ、付箋紙
- 工具（はさみ、プラスドライバー、キリ）
- ヒートン（ひもが外れない形状のもの）、落下時衝撃緩和対策用ひも

推奨するネジの寸法　単位：mm

6.5 ～ 7.5　3 ～ 4　30 ～ 50　4

壁掛けに使う付属品

- 壁掛けスリム金具 ×1
- 壁掛け用クッション ×2
- 壁掛け用ホルダー ×1
- 壁掛け用面ファスナー ×2
- 壁掛け用ネジ（上用）M6（長さ14mm）×2
- 転倒防止クランプ ×2
- 壁掛け用ネジ（下用）M4（長さ10mm）×1
- 転倒防止クランプ用ネジ M4（長さ12mm）×2
- 壁掛けガイドシート（本書）×1

壁掛けスリム金具と壁掛け用ホルダーを壁に取り付ける

◆ 重　要 ◆

- ディスプレイ部に取り付ける壁掛け用ネジや、壁掛けスリム金具／壁掛け用ホルダー取付用ネジは、しっかりと締めてください。ディスプレイ部、壁掛けスリム金具、壁掛け用ホルダーが落下し、けがをする恐れがあります。
- ディスプレイ部を壁に掛けるときはケーブルに引っかからないようにしてください。
- ディスプレイ部は壁掛け用ネジが壁掛けスリム金具と壁掛け用ホルダーの溝にしっかりとはまるように設置してください。
- 壁に掛けた状態でディスプレイ部の USB 端子をお使いになるときは、市販の USB 延長ケーブルをお使いください。

壁に、壁掛けスリム金具と壁掛け用ホルダーを取り付ける

1 壁掛けガイドシートの準備をする

- 壁掛けガイドシートを中心線で折り曲げて、「切り取り線①」に沿ってはさみで切り抜きます。
- 「切り取り線②」に沿って切り取ります。

あとでこれを使います。

2 壁掛けしたい場所に、壁掛けガイドシートを貼り付ける

- 穴あき硬貨をつけた糸を垂らして、セロハンテープで壁に貼り付けます。
- 垂らした糸に壁掛けガイドシートの中心線を合わせて、壁掛けガイドシートを壁に貼り付けます。
- 垂らした糸を取り外します。

3 手順１で切り取った紙を、元の位置に貼り付ける

- 「▼」印の紙を元の位置に貼り付けます。

テープ

4 壁掛けスリム金具と壁掛け用ホルダーイラストのネジ穴の中心点にキリを刺して、目印を付ける

- 目印を付けたら、壁掛けガイドシートをはがします。（手順 **3** で貼り付けた紙は残します。）

5 壁掛けスリム金具と壁掛け用ホルダーの仮止めをする

- キリを刺した目印と壁掛けスリム金具のネジ穴を合わせて、壁掛け金具取付用ネジ（市販品）をそれぞれ１本使って、仮止めします。
- 左右に傾いていないかを確認します。

上部中央を最初に止める
左上を最初に止める

6 壁掛けスリム金具と壁掛け用ホルダーを取り付ける

- 壁掛けスリム金具／壁掛け用ホルダー取付用ネジ（市販品）を使って、しっかりと取り付けます。
  金具：最低６本（４スミと中央）
  ホルダー：最低４本（４スミ）
  壁の材質などにより必要な位置に必要な数のネジをお使いください。

金具：最低６本(４スミと中央)
ホルダー：最低４本（４スミ）

中心線
画面中心
TOP▲
中心線

スタンド支柱を外して、壁掛けの準備をする

JIS ２番のプラスドライバー（市販品）をお使いください。

7 ディスプレイ部を寝かせる

- テーブルなどの台の上に毛布など厚手の柔らかい布を敷き、その上にディスプレイ部を寝かせます。
- 電源プラグをコンセントから抜き、録画機器などとつないだケーブルは録画機器側を外します。

8 スタンド台を取り外す

- スタンド台を固定しているネジ４本を取り外し、スタンド台を取り外します。

9 スタンド支柱取り付けネジ4本を外して、スタンド支柱を取り外す

壁掛けのためのネジを取り付ける

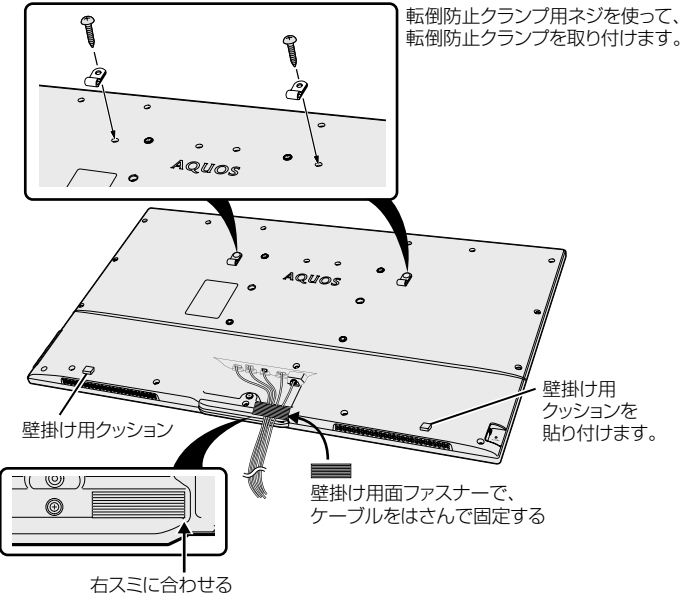
10 壁掛け用のネジを３本取り付ける

- ネジが外れないようにプラスドライバーでしっかりと締めてください。

壁掛け用ネジ（上用）M6（長さ14mm）
壁掛け用ネジ（下用）M4（長さ10mm）

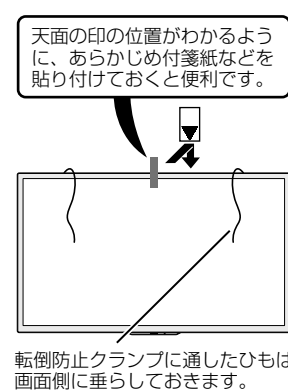
11 必要なケーブルを接続して壁掛け用面ファスナーで固定し、壁掛け用クッション、転倒防止クランプをディスプレイ部に取りつける

- ケーブルは確実に接続してください。
- 転倒防止クランプにはひもを通しておきます。

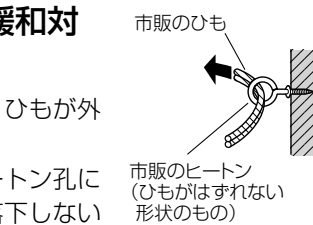
転倒防止クランプ用ネジを使って、転倒防止クランプを取り付けます。
壁掛け用クッション
壁掛け用クッションを貼り付けます。
壁掛け用面ファスナーで、ケーブルをはさんで固定する
右スミに合わせる

ディスプレイ部を壁に掛ける

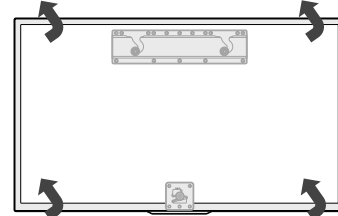
12 ディスプレイ部を壁に掛ける

- 手順 **3** で貼り付けた紙の「▼」印とディスプレイ部天面の印を合わせます。
- ディスプレイ部を壁に軽く押し付けながら、ゆっくりと下ろします。壁掛け用ネジが壁掛けスリム金具と壁掛け用ホルダーの溝にしっかりはまっていることも確認しながら、ディスプレイ部を壁に掛けます。

天面の印の位置がわかるように、あらかじめ付箋紙などを貼り付けておくと便利です。
転倒防止クランプに通したひもは、画面側に垂らしておきます。

13 ヒートンを使って、落下時の衝撃緩和対策を行う

- 壁に市販のヒートン（高さ 9mm 以下で、ひもが外れない形状のもの）を取り付けます。
- 転倒防止クランプと、壁に取り付けたヒートン孔に市販のひもを通して、ディスプレイ部が落下しないように結びます。

市販のひも
市販のヒートン（ひもがはずれない形状のもの）

ディスプレイ部を壁から外すときは

- 壁掛けスリム金具の溝にそってディスプレイ部を斜め右動かして外します。

◆ 重　要 ◆

- 接続してあるケーブルに引っかからないようにご注意ください。